

取扱説明書 Ver 1.01

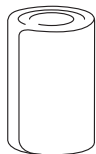
TP-480

エアロカムラスシェル



この度は、スノーピーク製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品はキャンプ用のシェルターです。安全にご使用いただくためにも下記の取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。説明内容で理解出来ない点及び製品に不具合が確認された際には直ちに使用を中止し、ご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

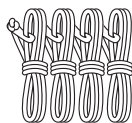
セット内容



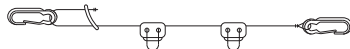
アウターフライシート
インナーフライシート



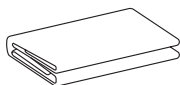
バイザーフレーム×2



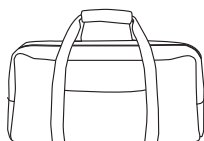
自在付ロープ
(2.5m×4、3.5m×4、
4.5m×4)



ハンギングライン



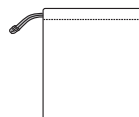
グラウンドシート



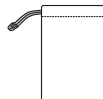
キャリーバッグ



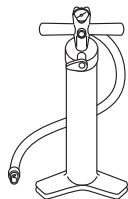
フレームケース



グラウンドシートケース



ペグケース



エアポンプ



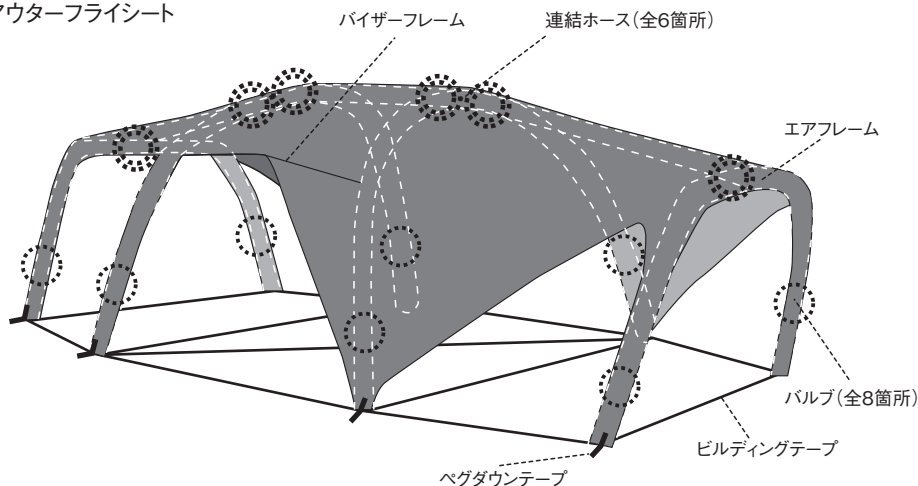
取説冊子(本書)

本製品にはジュラルミンペグが付属されておりません。
お手持ちのペグを別途ご用意ください。

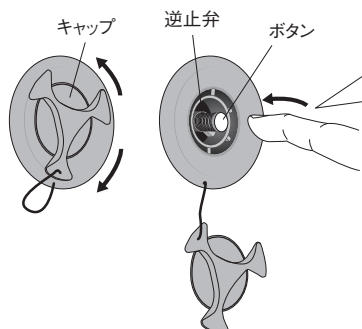
【推奨ペグサイズ】 全長30cm以上の鍛造ペグ×18本

各部の名称

■アウターフライシート



●バルブ詳細



ボタンを押して逆止弁を開閉する。

〈バルブ構造断面図〉

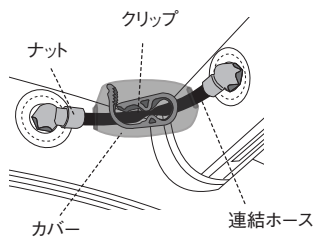
A：空気を入れる場合
空気が漏れるのを防ぎます。



B：空気を抜く場合



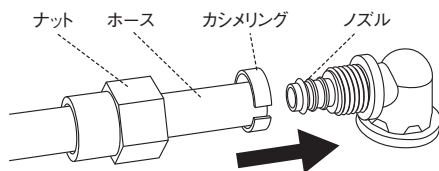
●連結ホース詳細



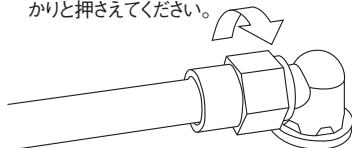
連結ホースがはずれた場合

下記の手順で接続してください。

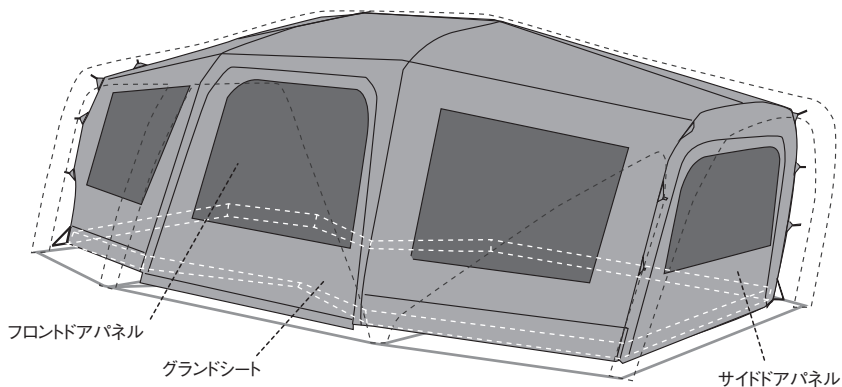
- (1) ナットとカシメリングにホースを通した状態でホースをノズルに差し込みます。



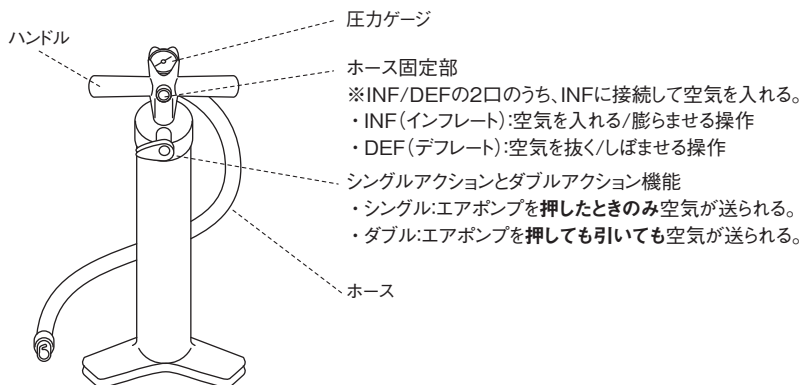
- (2) ナットを回してノズルにしっかりと固定します。
※この時、ホースが回ってねじれないように指でしっかりと押さえてください。



■インナーフライシート

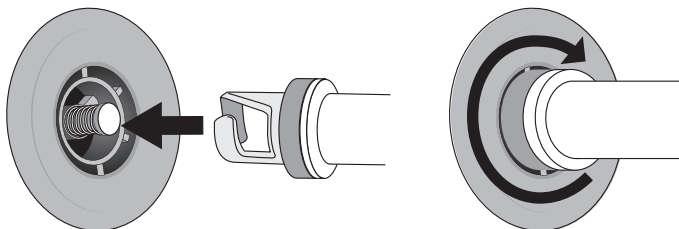


■エアポンプ



●アタッチメント

ホースをバルブの奥まで差し込みます。しっかり奥まで差し込んだらホースを右に回して固定します。

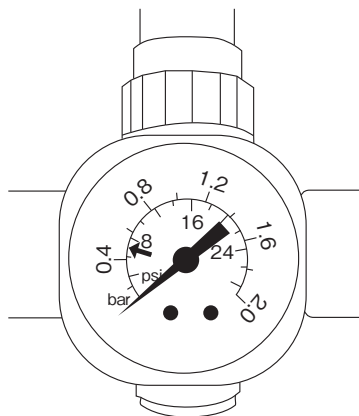


●圧力ゲージ

本製品に付属の圧力ゲージは、psi(ポンド毎平方インチ)とbar(バール)の2種類の単位で空気圧を表示します。取扱説明書に記載されている適正空気圧はpsiを基準としていますので、必ずpsi(図の内側)の目盛りを確認しながら注入してください。

※圧力計は簡易的な目安となります。エアポンプメーカーによって誤差が生じますのであらかじめご了承ください。

適正空気圧:6.5psi



⚠ 危険 明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。

- このシェルターの素材は難燃性ではありません。シェルター内では燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ろうそく、ライター、たばこなどの裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災や酸素欠乏、一酸化炭素中毒などのおそれがあり大変危険です。
- シェルター内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。



⚠ 警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

- ご使用前に本製品を点検し、各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお買い求めいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービスに点検または修理を依頼してください。
- 気象状況には常に細心の注意を払い、悪天候(大雨、降雪、強風、雷など)が予想されるときは速やかにキャンプを中止して、安全な場所に避難してください。万一悪天候にみまわれたり、強風時などにはベグやロープがしっかりとつながっているかなどを、時々点検してください。
- 高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。火災や熱中症などの危険があります。
- 天候によりシェルター内が高温になり、熱中症などの危険があります。お子様の昼寝の際など、細心の注意を払ってください。
- 風が吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な出水などのおそれのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。
- 積雪が予想される場合は使用しないでください。本製品はエアフレーム構造のため、天井に雪が積もると重みにより全体が潰れ、重大な事故につながるおそれがあります。やむを得ず積雪下で使用する場合は、こまめに除雪し、必ず換気をおこなってください。



⚠ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

- 本製品は常設用ではありません。本製品の素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起きますので、常設用として使用しないでください。
- 日差しにより本体表面は低温ヤケドに発展するほどの高温になります。十分ご注意ください。
- 角のある石や折れた木の枝など鋭利なもののない平坦な場所で使用してください。
- 焚火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。設営・撤収の際には、周囲に火気がないことを確認してください。火の粉を被ると生地に穴が空いてしまいます。
- シェルターの設営・撤収の際は、風に飛ばされないよう本体をしっかりと支えて作業してください。事故に繋がるおそれがありますので必ず周囲の安全を確認して作業してください。作業は必ず2人以上でおこなってください。
- ベグとロープで確実にシェルターを固定してください。十分に固定されていない状態では使用しないでください。
- 薄い生地を使用していますので、生地を引っ張りすぎると破損するおそれがあります。ご注意ください。
- 足もとのビルディングテープ、ロープやベグなどにはご注意ください。足を引っ掛けて転倒し、思わぬ事故の原因となります。
- インナーフライシート内には小物を吊るすハンギングラインが付いています。ハンギングライン全箇所合計1kgを超えない範囲でご使用ください。
- 本製品に重いものを吊るしたり、もたれかかったりしないでください。シェルター全体が傾いたり、エアフレームが破損し、転倒やケガの原因となります。
- 農薬などでPUコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合があります。この症状と判断された場合、製品の保証ができなくなりますのでご注意ください。
- 必ずエアフレームシェルターに対応したエアポンプをご使用ください。
- 本製品の適正空気圧は6.5psiです。空気圧が高すぎるとフレームの破損や破裂の原因となり、低すぎるとフレームが安定せず、転倒や変形のおそれがあります。必ず適正空気圧を守って使用してください。
- 使用中は、空気圧の定期的な確認をお願いします。
- 空気の注入・排出時には、子どもやペットを近づけないでください。急な膨張や収縮により、思わぬケガの原因となるおそれがあります。

- チューブカバーのファスナーは開けないでください。中のチューブがはみ出て、破損の原因となります。
- 本製品を使用時は、ビルディングテープを取り外さないでください。ビルディングテープは、脚部を内側に保持してシェルター全体の形状を安定させるための部材です。取り外すと脚部が外側に開き、シェルターが傾いたり、風圧に対する耐久性が著しく低下するおそれがあります。
- グランドシートの上に鋭利な脚部・突起をもつものは置かないでください。製品を傷つける場合があります。

設営の手順 より安全に設営するためにも必ず2人以上で設営してください。

設営・撤収は以下の説明に従い、繰り返し練習し、実際のキャンプに備えてください。また、付属品がすべて揃っているか、前もってご確認ください。無理な設営・撤収は本体やフレームの破損や事故の原因になります。本書をよくお読みになりご使用ください。

① アウターフライシートを平坦な場所に広げてください。

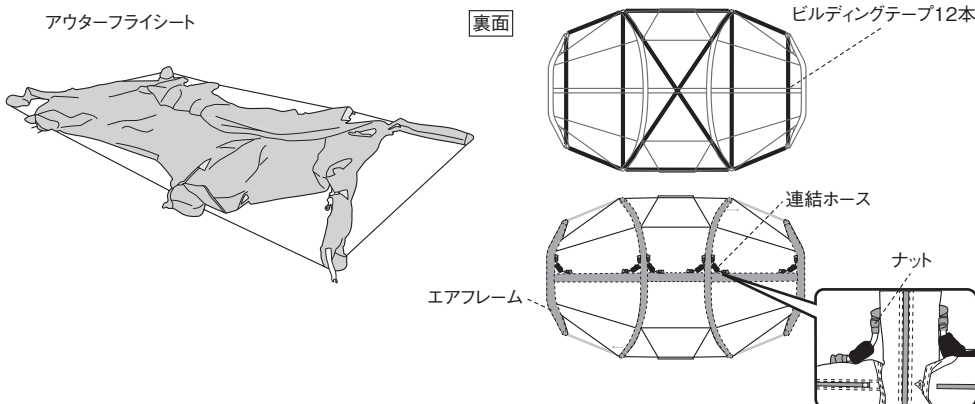
※12本のビルディングテープがすべて接続されていることを確かめてください。もしはずれている場合は、設営前に必ず接続してください。

注意 エアフレームどうしを連結しているホースが曲がっていないか、また根本のナットにゆるみがないかを必ず確認してください。フレーム連結部が無理な方向に曲がった状態で空気を充填すると、連結ホースがはずれるおそれがあります。(全6箇所)はずれている場合は、P2「●連結ホース詳細」に従って、接続してください。

アウターフライシート

裏面

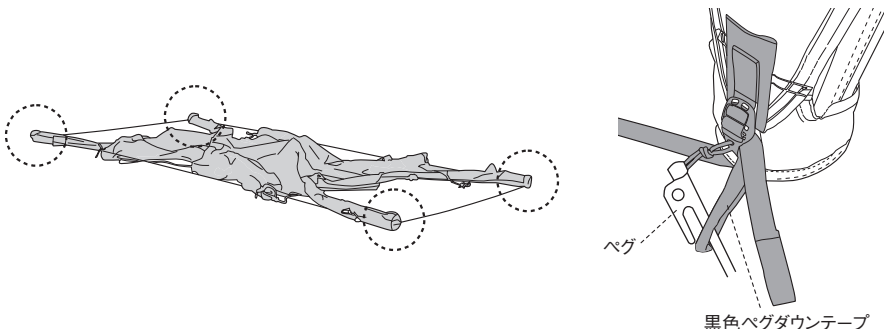
ビルディングテープ12本



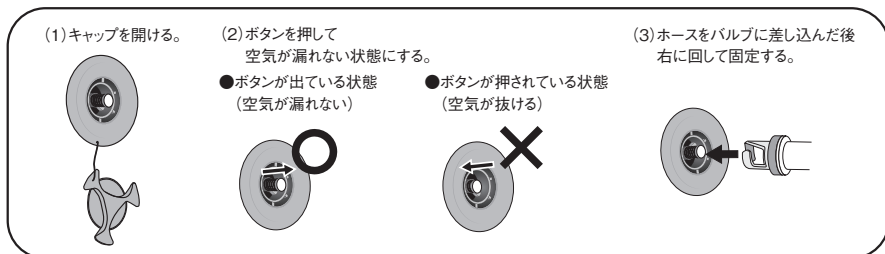
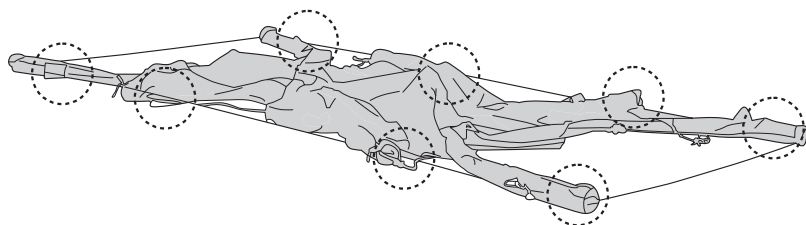
② アウターフライシートの四隅(黒色ベグダウンテープ)をベグで仮固定してください。

※アウターフライシートのねじれやビルディングテープの絡まりにご注意ください。

※ビルディングテープが長方形になるようにベグの位置を整えてください。



- ③ エアフレームのバルブにエアポンプのホースを接続します。
 ※すべてのバルブ(全8箇所)の逆止弁ボタンが閉じた状態(空気が漏れない状態)にしてからホースを接続してください。
 ※どのバルブからでも空気を入れることができます。
 ※バルブに砂やゴミがつかないようにご注意ください。



- ④ エアポンプを押して、空気を入れてください。エアフレームが折れているとエアフレーム全体に空気が通らないため、空気を入れている間は、もう一人が折れた部分を支え、すべてのエアフレームに空気が行き渡るようにしてください。

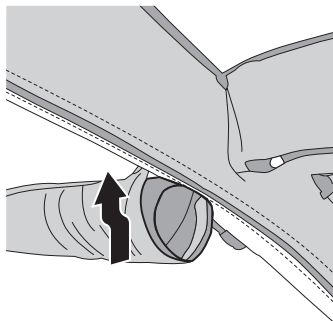
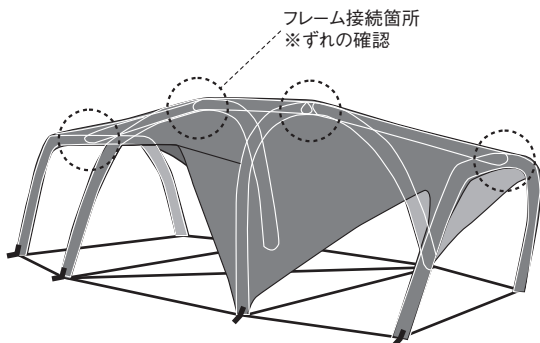
適正空気圧:6.5psi

エアポンプのゲージが「6.5psi」に達したら、空気圧は適正です。気温の変化(夏場の直射日光や夜間の冷え)、設置場所の環境により空気圧が変動することがあります。過剰な圧力がかからないよう、逆止弁のボタンを押して少しずつ空気を抜き、適正空気圧に調整してください。

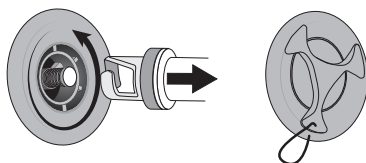
- ⑤ エアフレームを完全に膨らませる前に、アウターフライシートの内側に入り、フレームどうしの位置ずれを確認してください(4箇所)。

※完全に空気を入れてから確認すると、エアフレームが固くなり、ずれを戻すのが難しくなります。

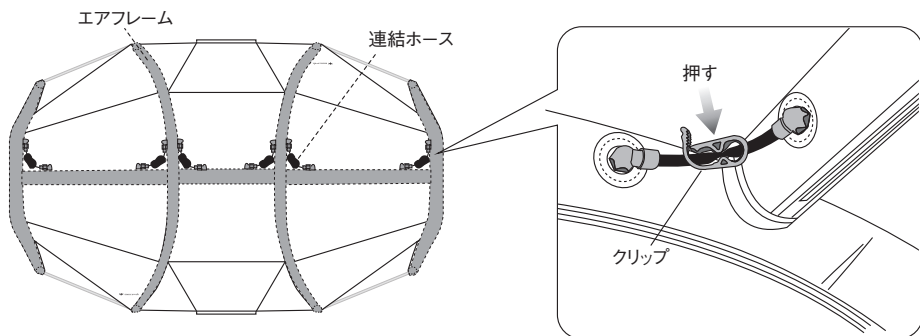
注意 フレームがずれた状態で使用すると思わぬ事故や製品破損の原因となります。



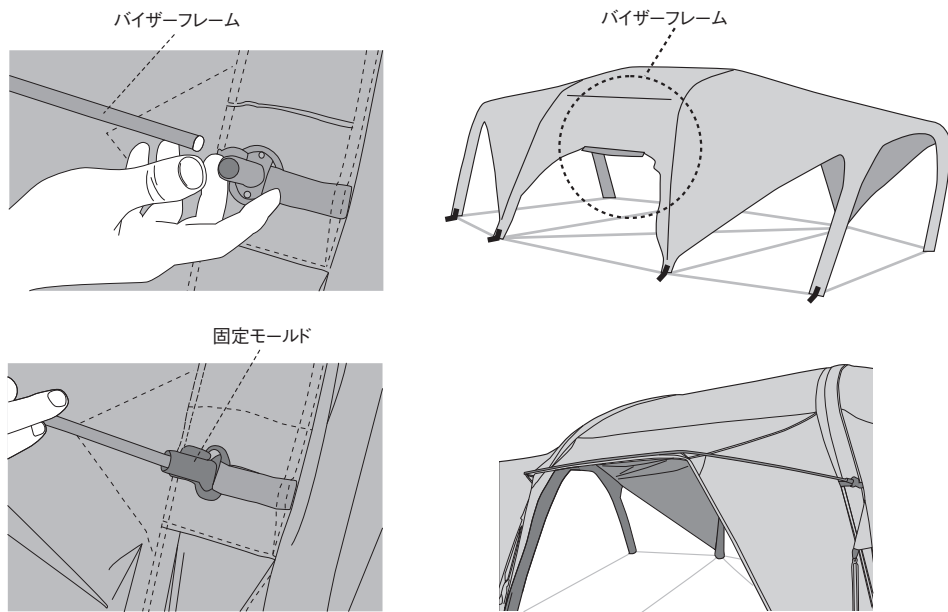
- ⑥ 適正空気圧に達したら、バルブからホースをはずし、空気穴の蓋を閉めます。



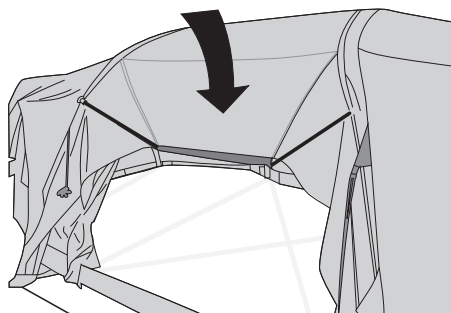
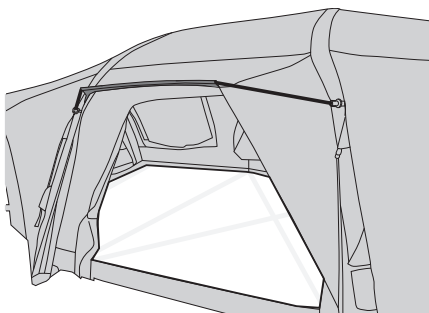
- ⑦ アウターフライシート天井のノズルクリップ(全6箇所)を閉じてください。
※クリップを閉じることで、エアフレーム間の空気の移動を防ぎ、使用中の空気の偏りを抑えます。特に強風時に閉じていないと、空気が一部に集中して圧力がかかり、シェルターの安定性が低下するおそれがあります。



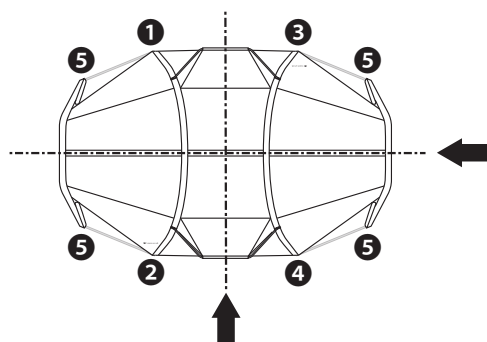
- ⑧ バイザーフレームの取り付け(2箇所)
フロントドアに付属している固定モールドにバイザーフレームを差し込んで、取り付けてください。



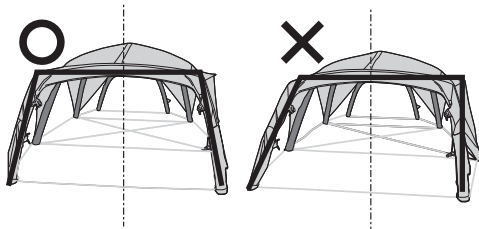
注意 強風を受けた際、バイザーフレームは破損を防ぐために内側へ倒れ込むように設計されています。内側へ倒れ込んだ場合でも、容易に元の位置に戻すことができます。



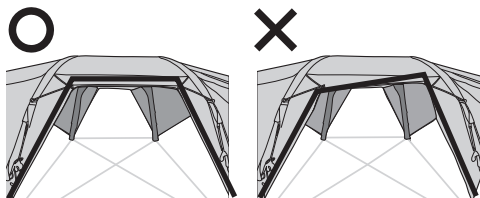
- ⑨ ベグダウンループから、ベグを打ち込みます。下図の順に軽く引き、アウターフライシートのたるみのないようベグダウンしてください。また、仮止めた四隅のベグも位置を調整し、前後左右対称になるように再度ベグダウンしてください。
※⑤のベグダウンの位置が前後左右対称になっていない場合、アウターフライシートの歪みの原因となります。アウターフライシートの形状が歪んでいる場合はベグの位置を調整してください。



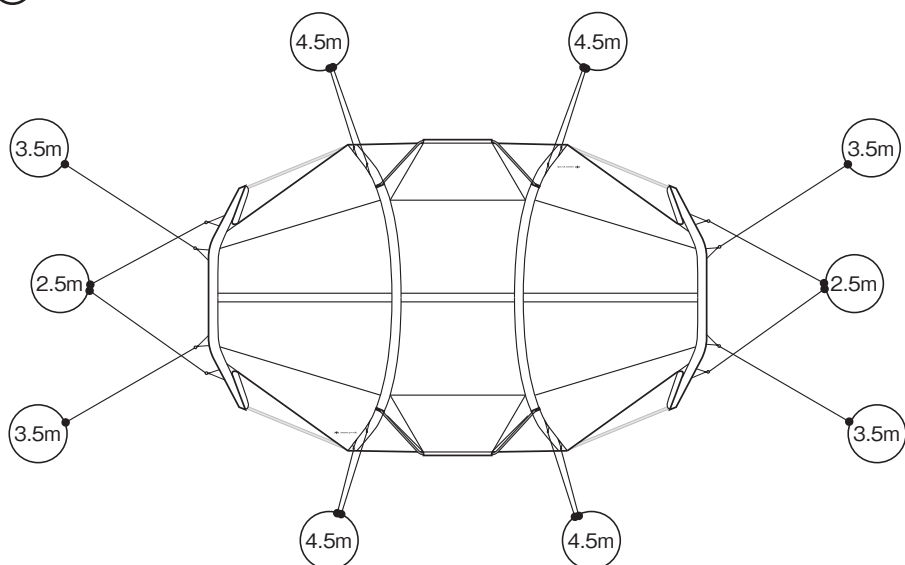
●サイドドア側



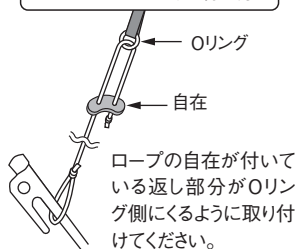
●フロントドア側



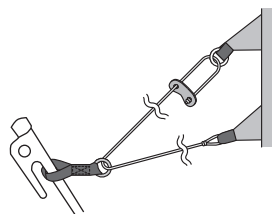
- ⑩ 各ロープを伸ばし、ペグを打ち込んでください。



シングルロープの取り付け方

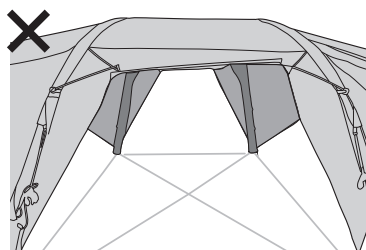
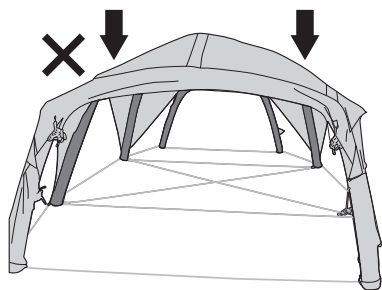


V字ロープ(4.5m)取り付け方



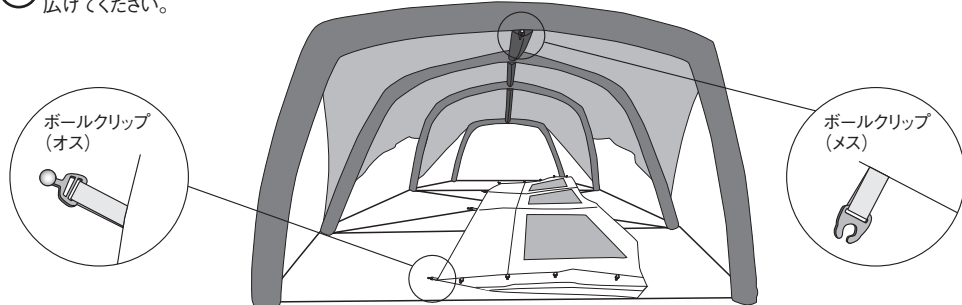
- ⑪ ロープの自在を引き、テンションをかけてください。
※引き過ぎにご注意ください。フレームの変形や破損のおそれがあります。
※特に次の点を確認してください。

- ・サイドドア側から見てフレームが潰れていないか
- ・フロントドア側から見てパイザーフレームがゆがんでいないか



インナーフライシートの取り付け

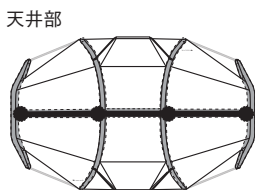
- ① インナーフライシートの長辺と短辺を確認して、ボールクリップ(オス)が見えるように半分に折りたたんだ状態で室内に広げてください。



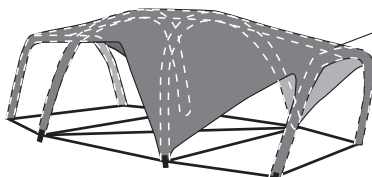
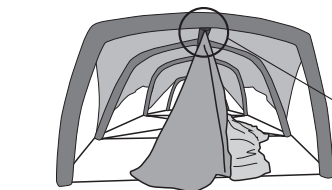
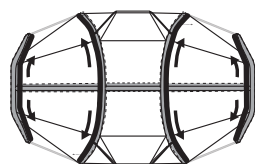
- ② アウターフライシート内側のボールクリップ(メス)に、インナーフライシートのボールクリップ(オス)を引っかけてください。
- ・ボールクリップ(メス)は各エアフレームに取り付けられています。必ずボールクリップすべてを取り付けてください。
 - ・まず中央天井部のエアフレームに取り付け、その後、各フレームの脚に向かって上から順に取り付けると作業しやすくなります。

※天井部のボールクリップ(メス)はエアフレームの間に隠れている場合があります(4箇所)。天井部分のボールクリップ(メス)のみ紐がついていますので、引っ張って取り付けやすい位置に出してください。

天井部

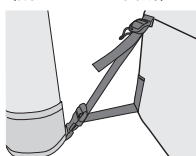


フレーム脚部

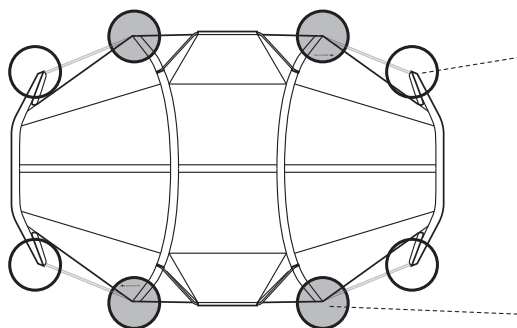
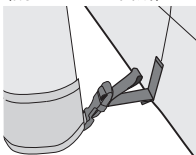


- ③ ボトムの各コーナーのバックルを接続した後、調整テープを引っ張り、ボトムのテンションを調整してください。
- ※テープがねじれないようにバックルの向きに注意してください。

〈調整テープA 箇所〉

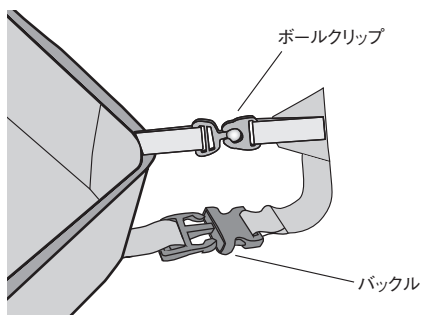


〈調整テープB 箇所〉

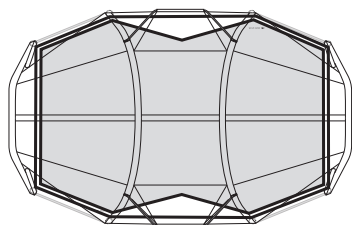
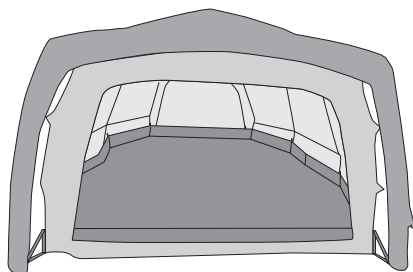


グランドシートの取り付け

- ① グランドシートをPUコーティング(光沢がある面)が上になるようにエアロカマスシェル本体の中に敷いてください。エアロカマスシェルとグランドシートの形状が合うように本製品の向きを確認してください。
- ② グランドシートの各コーナーにあるバックルとボールクリップをインナーフライシートのボトム部分に取り付けてください。

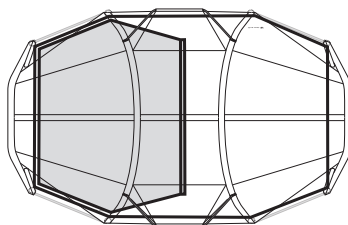
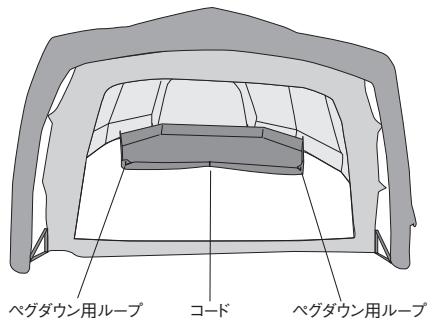


【グランドシート全体に敷く場合】



【半分のみグランドシートを敷く場合】

中央までグランドシートを折り込み、コードで留めてください。

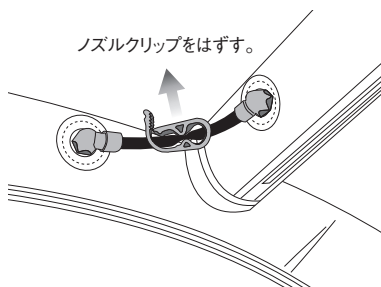


- ③ (半分のみグランドシートを敷く場合のみ)
中心にグランドシートを折り込み、中央のコードでまとめてください。
折りたたんだ左右のグランドシートのベグダウンループからベグダウンして、形を整えてください。

撤収方法

設営手順とは逆の順番に進め、エアフレームから空気を抜きます。

- ① インナーフライシートの中に何も入っていないことを確認し、グランドシート、インナーフライシートのすべてのボールクリップとバックルを取り外し、グランドシートとインナーフライシートをアウターフライシートから取り出してください。
- ② すべてのベグを地面から抜き、ロープを結んでまとめてください。
- ③ アウターフライシート天井部のノズルクリップ(6箇所)と、パイザーフレーム(2箇所)を取りはずしてください。



- ④ バルブの蓋を開け、逆止弁のボタンを押し、空気を抜きます。

注意

- ・ 逆止弁のボタンを押すと一気に空気が抜けます。空気を抜く際はバルブの正面に立たないでください。また空気の抜ける方向に人やものがない状態を確認してから行ってください。ケガや器物破損のおそれがあります。
- ・ 絶対にお子様の手が触れないようにしてください。ケガや器物破損のおそれがあります。

ボタンを押して空気を抜く。



〈空気を抜く〉
ボタンが押されている状態

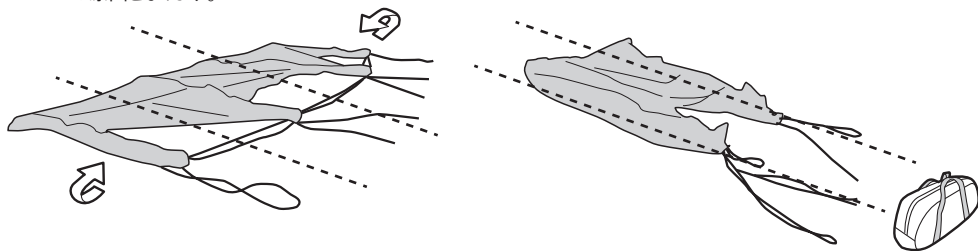


〈保管する(空気が漏れない)〉
ボタンが出ている状態

- ⑤ キャリーバッグの長さに合わせ、本体を折りたたみ、キャリーバッグの中に入れてください。
※アウターフライシートを折りたたむ際に、空気が抜けきれていない場合は、無理に折りたたまずバルブの逆止弁のボタンを押して空気を抜いてください。

注意

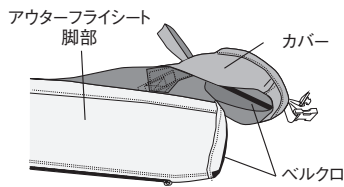
- ・ 逆止弁を開けて空気が抜けたら逆止弁は閉じてください。開いたまま長期間に保管するとバルブの機能低下、故障の原因となります。



- ⑥ パイザーフレームやベグはそれぞれ付属の専用ケースに入れ、キャリーバッグに収納してください。

撤収・収納時の注意事項

- 十分に乾燥してから収納してください。
特に、アウターフライシートが濡れた場合、脚部のカバーが乾きにくく、乾燥に時間がかかる場合があります。脚部のカバーは取りはずし可能なため、図のように取りはずしてよく乾燥させてください。
- 強風時は、風が収まるのを待ってから撤収してください。
- グランドシート・インナーフライシートを取り付けた場合や、別のテント／タープなどを併用していた場合は、必ずグランドシート・インナーフライシートや併用していた製品を本体から取りはずしてから撤収をはじめてください。
- シェルターの中に何も入っていないこと、すべてのパネルや窓部のファスナーが閉まっていることを確認してから撤収をはじめてください。
- 撤収の前にすべてのビルディングテープが接続されていることを確認してください。
- ベグはすべて抜き、汚れを落としてベグケースに頭を下に向けて収納してください。パイザーフレームはフレームケースに収納してください。むき出しの状態では収納すると、本体生地やキャリアバッグなどを傷付けることがあります。



結露について

空気中に含まれている水分が急激に冷やされて霧状になったものが結露として現れます。特にテントやシェルターなどの限られた空間では、中にいる人間の水分が呼吸や汗などにより空気中に放出され水蒸気となり、通常の室内よりも水蒸気の濃度が高くなり、結露の発生する確率が高くなります。結露は優れた透湿防水素材でも使用状況により完全に防ぐことは不可能です。ご使用中は結露軽減のため、こまめに適時換気を行ってください。

撥水・防水性能について

- 本製品はポリエステル生地を組み合わせで使用しています。生地の特性上、撥水性能(撥水の仕方や、耐久性)に若干の差が見られる場合があります。ご了承ください。
- 撥水加工は、ご使用を重ねますと撥水機能が低下します。撥水性が衰えてきたときは市販の撥水スプレーなどを使用してください。スプレーご使用の際は、スプレーの注意書きをよくお読みください。
- 防水性の高い生地を使用しておりますが、地面の水溜まりなどと長時間接触していると雨水が浸み、部分的に色が変わることがあります。
- 農業などでPUコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合があります。この症状と判断された場合、製品の保証ができなくなりますのでご注意ください。
- 撥水剤の影響によりロゴマークが剥離する場合があります。

紫外線の影響について

- 本製品にはアウターフライシートとインナーフライシートの生地にUVカット加工を施しています。UVカット加工は、人体にとって有害な紫外線の透過を抑えると共に、生地強度劣化を緩和します。
- ※UVカット加工は、紫外線による人体への影響や、素材劣化を防止するものではありません。
- シェルター素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
 - 紫外線の影響と思われる素材の劣化により、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。

メンテナンス・保管

- 長期間ご使用しなかった製品を再度お使いになる際は、製品および内容物をよく点検してください。不明な点がありましたら弊社ユーザーサービスまでご連絡ください。
- 本製品にはポリエステル生地を組み合わせて使用しています。生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
- 濡れたまま保管すると、カビや悪臭、生地の色移り、生地の劣化などのトラブルの原因になりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで泥汚れを落としてから保管してください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを使い常に清潔にしてください。また、スライダーの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系潤滑剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
- 小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際は、生地の特性上、裏側からリペアテープを貼ってください。なお、ご使用にあたっては、リペアテープの説明書を良くお読みください。
- ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。
- シームテープはPUコーティングが傷まない程度の温度設定で圧着されていますが、使用を重ねるにしたがい剥離してしまう場合があります。剥離が確認された場合は、アイロンを低温に設定し、剥離箇所のみを再度圧着してください。熱を掛け過ぎた場合、生地が変色したり劣化が促進されますのでご注意ください。シームテープは無理やり剥離させないでください。PUコーティングと一緒に剥離された場合、修理できなくなる可能性があります。
- 樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設置してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを傷めます。
- 次回のキャンプに備え、上記の通り十分に保守、点検をしてください。

品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期していますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店様もしくは弊社または各製品に記載された連絡先にご相談ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適切な価格で修理させていただきます。修理、交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は修理できない場合もありますのであらかじめご了承ください。

1. 素材の経年劣化による損害など商品の寿命
2. 改造および粗雑な取扱いによる故障
3. 取扱説明書で禁止されている取扱いによる故障
4. 不測の事故による商品の故障
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障
6. ゴミやサビによる故障
7. 分解したことによる不具合の発生または破損
8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合
9. 摩擦によるパーツの変化及びそれによる故障
10. 他社製品との組み合わせによる故障

修理について

- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
 1. 保証対象の場合：往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
 2. 保証対象以外の場合：往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

スペック

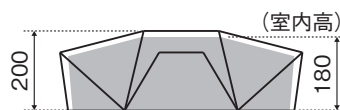
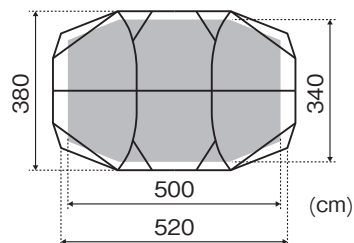
●セット内容:アウターフライシート、インナーフライシート、バイザーフレーム(×2)、グランドシート、自在付ロープ(2.5m×4、3.5m×4、4.5m×4)、ハンギングライン、キャリーバッグ、フレームケース、グランドシートケース、ペグケース、エアポンプ

●材質:【シェルター】アウターフライシート/75Dシリコンポリエステルリップストップ・遮光ビグメントPUコーティング耐水圧1,500mmミニマム・UVカット加工、インナーフライシート/68Dシリコンポリエステルリップストップ・PUコーティング耐水圧1,500mmミニマム・UVカット加工(ウォール部)、68Dポリエステルタフタ・撥水加工(ルーフ部)、150Dポリエステルリップストップオックス・PUコーティング耐水圧1,500mmミニマム・撥水加工(ボトム部)、グランドシート/150Dポリエステルオックス・PUコーティング耐水圧1,500mmミニマム・撥水加工、バイザーフレーム/A7001(φ8.5mm)、エアフレーム/TPU、【ポンプ】本体/ポリプロピレン、ホース/ポリエチレン、ロッド/アルミニウム合金

●収納サイズ:94×38×40(h)cm

●重量:約24kg(エアポンプを含む)

●対応人数:4名



不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

スノーピーク ☎ **0120-010-660** (9:00~17:00)
ユーザーサービス Email: userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456
 Tel. 0256-46-5858 / Fax. 0256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

MADE IN VIETNAM

Instruction Manual : Ver 1.01

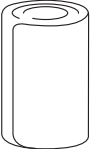
TP-480

Aero Cumulus Shell



Thank you for purchasing a Snow Peak product. This product is shelter for camping. For safety, read the following instruction manual before use. Please keep it safe for future reference. Finally, if you find anything that you do not understand in the description or any problems with the product, please stop use immediately and contact the retailer or Snow Peak Customer Service.

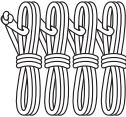
Contents



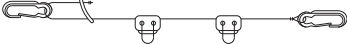
Outer fly sheet
Inner fly sheet



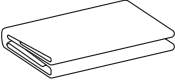
Visor frame×2



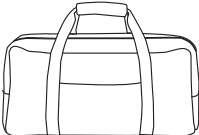
Rope with tensioner
(2.5m / 8.2'×4, 3.5m / 11.5'×4,
4.5m / 14.8'×4)



Hanging line



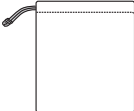
Ground sheet



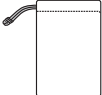
Carrying bag



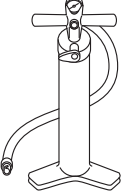
Pole case



Ground sheet case



Peg case



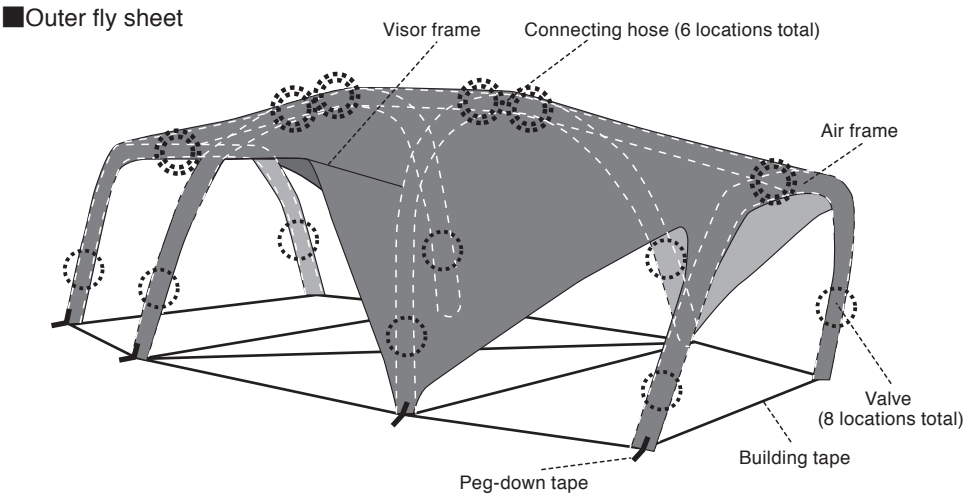
Air pump



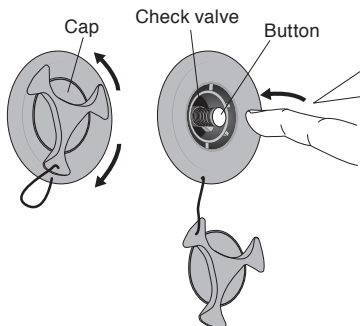
Instruction Manual
(this document)

This product does not come with any duralumin pegs.
Use your own pegs with this product.
[Recommended peg size]
18 forged pegs that are at least 30 cm long

Parts



● Valve details



Push the button to open and close the check valve.

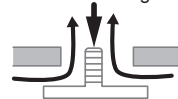
<Cross-section view of the valve structure>



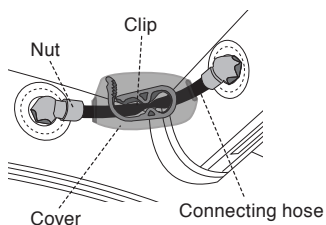
A: When inflating:
Prevents air leak.



B: When deflating



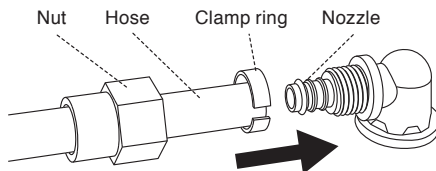
● Connecting hose details



When the connecting hose comes off

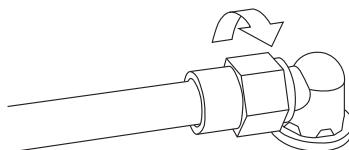
Re-connect the hose by following the steps below.

- (1) With the hose passed through the nut and clamp ring, insert the nozzle into the hose.

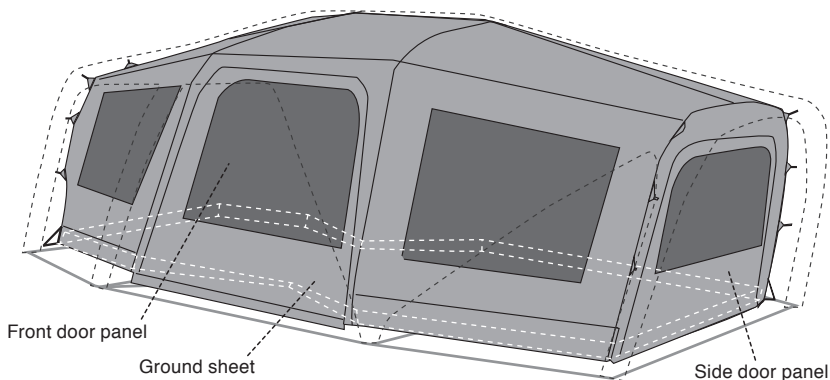


- (2) Turn the nut to firmly attach the hose to the nozzle.

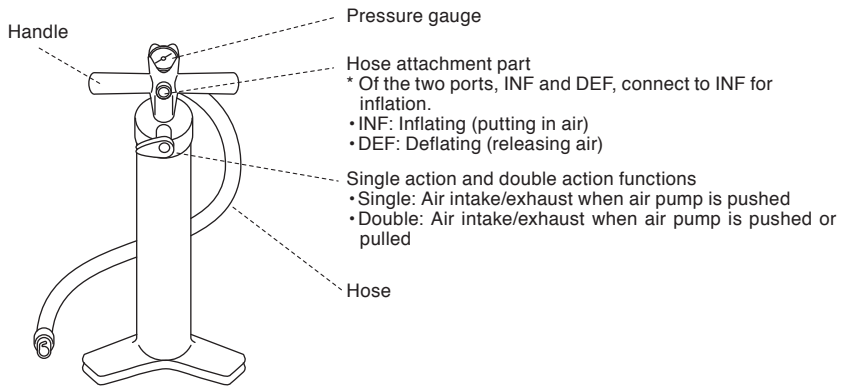
* When doing so, hold the hose firmly with your fingers so that it does not turn and twist.



■ Inner fly sheet

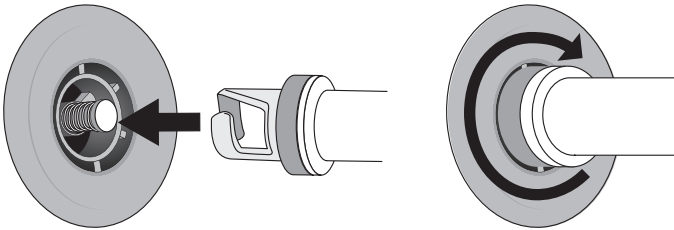


■ Air pump



● Attachment

Insert the hose all the way into the valve. Once the hose is completely inserted, turn the hose to the right to lock it.

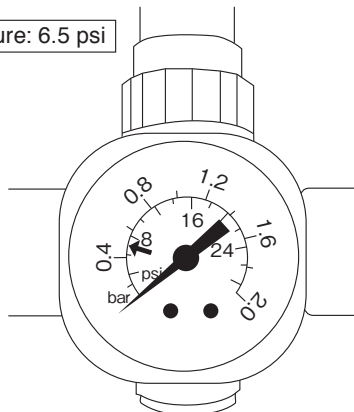


● Pressure gauge

The pressure gauge supplied with this product indicates air pressure in two units: psi (pound per square inch) and bar. The appropriate air pressure provided in the manual uses psi as the unit of pressure measurement. Be sure to check the psi scale (inside scale in the figure) when supplying air.

* Use the pressure gauge reading as a rough guide. Please note in advance that some error may occur depending on air pump manufacturer.

Appropriate air pressure: 6.5 psi



⚠ DANGER: Misuse could easily result in a serious accident or death.

- The material of this shelter is not flame-proof. Do not use combustion-based heat sources such as lanterns, stoves, or heaters, or open flames such as matches, candles, lighters, or cigarettes, inside the shelter. The use of such heat or light sources inside a small enclosed space is hazardous and may result in fire, oxygen deficiency, or carbon monoxide poisoning.
- Do not keep fuel, or flammable items for replenishing the fuel, inside the shelter.



⚠ WARNING: Misuse could result in serious injury or death.

- Before using the product, check each part for abnormalities. If there are abnormalities, take the product to the dealer or Snow Peak Customer Service for inspection or repair.
- Pay close attention to the weather. If bad weather conditions (e.g. heavy rain, snow, strong wind, or thunder) are forecast, pack up camp immediately and evacuate to a safe place. In the case of bad weather conditions or strong wind, periodically inspect the pegs and ropes to ensure that they are securely connected.
- Do not bring heated items into the shelter when they are at high temperatures. Inside the shelter, very high temperatures may cause heatstroke or fire.
- The temperature inside the shelter will be high during warm weather, and there is a risk of heatstroke. Pay close attention to the temperature, particularly when children are asleep inside the shelter.
- Choose a flat, well-drained area with firm ground to pitch the shelter. Choose a place with no chance of avalanches, landslides, wind gusts, or sudden flooding.
- Do not use this product when snowfall is expected. This product adopts an air frame structure, which can collapse with snow weighing on the roof, resulting in a serious accident. If you must use this product in snowy weather, remove the snow from time to time, and ensure good ventilation.



⚠ CAUTION: Misuse could result in injury to the user and/or damage to property.

- This product is not for permanent setup. If this product is left in the sun for long periods, the material may fade in color or deteriorate and lose strength. Do not use this product as a permanent setup.
- Sunlight can cause the surface of the shelter to heat up, potentially causing low-temperature burns. Be especially cautious when handling.
- Use this product on a flat place with no sharp objects such as rocks with sharp edges or broken branches.
- Do not assemble or use the shelter close to a bonfire, fireworks, etc. Flying sparks can create holes in the fabric.
- When assembling and disassembling the shelter, firmly hold the shelter so that it won't be blown away by the wind. Ensure that the surrounding area is safe before working so as to avoid accidents. Make sure to work with two or more people.
- Use the pegs and ropes to secure the shelter in place. Do not use it without securing it properly.
- Because this product uses a thin fabric, it may break if you pull the fabric too much.
- Please pay attention to the building tape, rope, and pegs at your feet. You may catch your foot and fall, leading to an unexpected accident or injury.
- The inner fly sheet has a hanging line for hanging small items inside. You can hang items up to a total of 1 kg on the hanging line.
- Do not hang any heavy object on this product or lean against it. It may cause the whole shelter to tilt, which can lead to damaging the air frame and people falling over or suffering injuries.
- Agricultural chemicals and other substances may cause the PU coating to break down, which can significantly reduce the product's ability to withstand water pressure. If this occurs, there is no guarantee that the product will function as intended.
- Be sure to use an air pump that is compatible with the air frame shelter.

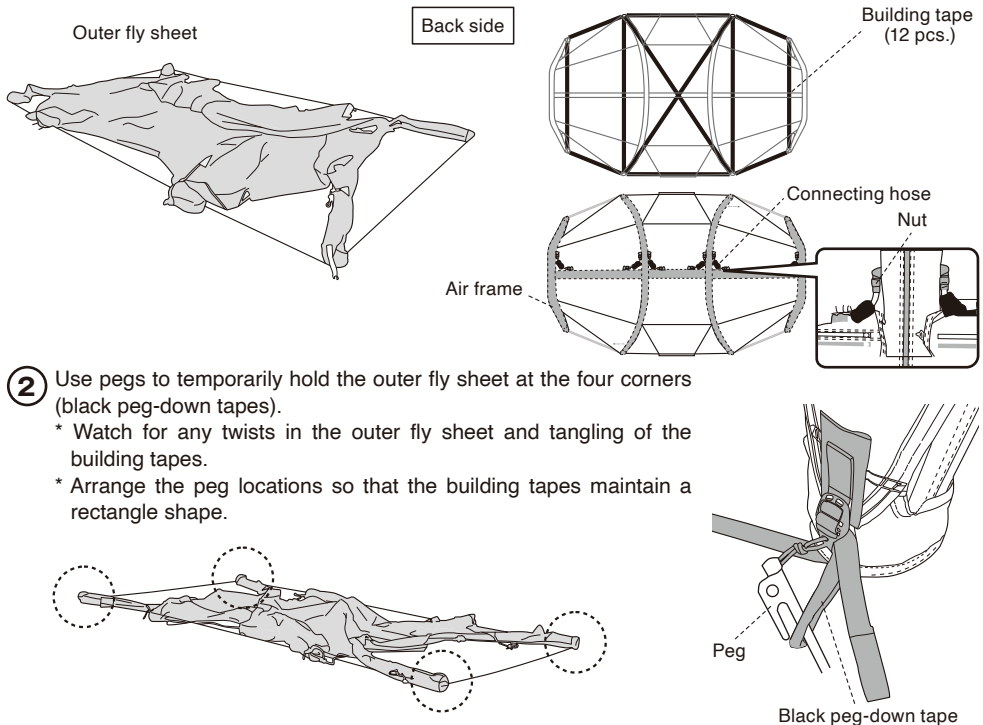
- The appropriate air pressure for this product is 6.5 psi. Excessively high air pressure can cause the frame to break or burst. Excessively low air pressure leads to frame instability, which can result in this product tipping over or deforming. Ensure appropriate air pressure when using this product.
- Periodically check the air pressure during use.
- Keep children and pets away when inflating or deflating the frames. Rapid inflation or deflation may result in unexpected injuries.
- Do NOT open the zipper of the tube cover. The tube inside may come out and cause damage.
- Do not remove the building tapes while using this product. The building tapes hold the legs inside and stabilize the shape of the entire shelter. If they are removed, the legs will spread outward, which can cause the shelter to tilt and significantly reduce resistance against wind pressure.
- Do NOT put any items with sharp leg parts or protrusions on the ground sheet. Such items may damage the product.

Setup Procedure: Make sure to set up the shelter with two or more people in order to ensure safety.

Follow the instructions below to practice setting up and packing up this product several times in order to prepare yourself for the actual camping. Check in advance that all accessories are supplied. Inadequate setup and packing up may result in damage to the main unit or the frames and further lead to accidents. Carefully read this document to ensure correct use.

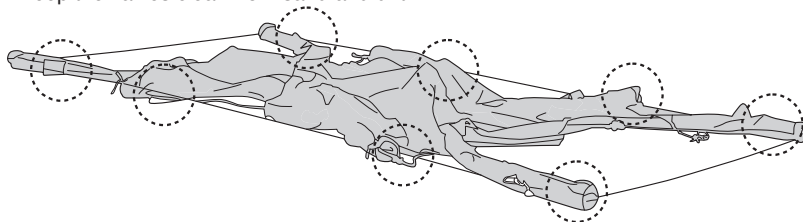
- 1 Spread the outer fly sheet on flat ground.
* Ensure that all 12 building tapes are connected. If a building tape is detached, be sure to connect it before setting up the shelter.

Caution Check for any bending of hoses that connect together the air frames, or any loose nuts at the roots. Supplying air while the frame connecting parts are bent in an awkward direction may cause the connecting hoses to come off. (6 locations total) If you find any disconnected hose, re-connect it by following the instructions in “● Connecting hose details” on page 18.



- 2 Use pegs to temporarily hold the outer fly sheet at the four corners (black peg-down tapes).
* Watch for any twists in the outer fly sheet and tangling of the building tapes.
* Arrange the peg locations so that the building tapes maintain a rectangle shape.

- ③ Connect the air pump hose to the air frame valve.
- * Connect the hose only after closing the check valve buttons (to prevent air leaks) for all the valves (8 locations total).
 - * You can supply air from any valve.
 - * Keep the valves clean from sand and dirt.



(1) Open the cap.



(2) Push the button to keep the air locked in.

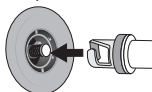
● Button is poking out
(air is locked in)



● Button is pressed in
(air leaks)



(3) After inserting the hose into the valve, turn it toward the right to hold it in place.



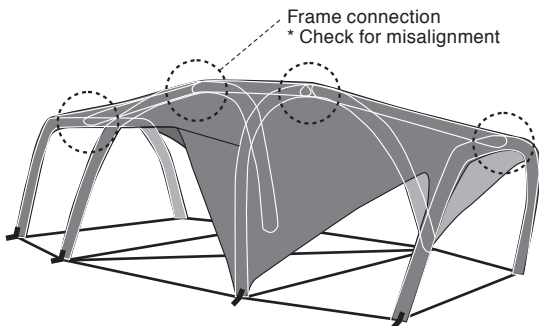
- ④ Push the air pump to supply air. If an air frame is bent, air does not pass through the entire air frames. While air is being supplied, have another person support the bent part so that air is supplied throughout all the air frames.

Appropriate air pressure: 6.5 psi

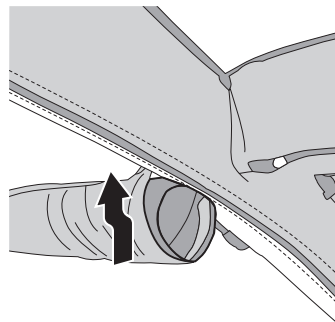
Air pressure is correct when the reading of the air pump gauge reaches 6.5 psi. The air pressure may fluctuate due to changes in outside temperature (direct sunlight in summertime and nighttime chilliness) and the general environment of where the shelter is set up. To prevent excessive pressure buildup, push the check valve button to release air little by little to adjust the pressure to the appropriate air pressure.

- ⑤ Before inflating the air frames completely, go inside the outer fly sheet and check for any misalignment between the frames (4 locations).
- * Checking after the air frames have completely inflated will make fixing misalignments difficult due to the stiffness of the air frames.

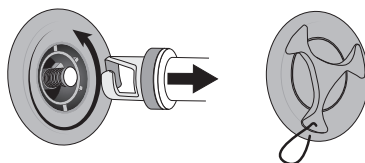
Caution Using this product without having the frames properly aligned can lead to unexpected accidents and product damage.



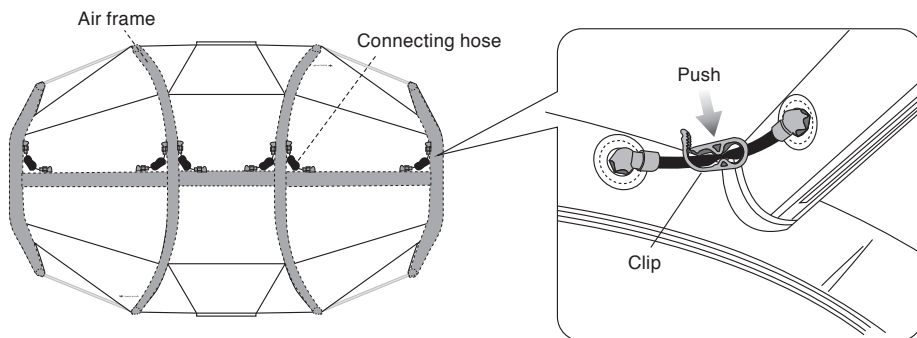
Frame connection
* Check for misalignment



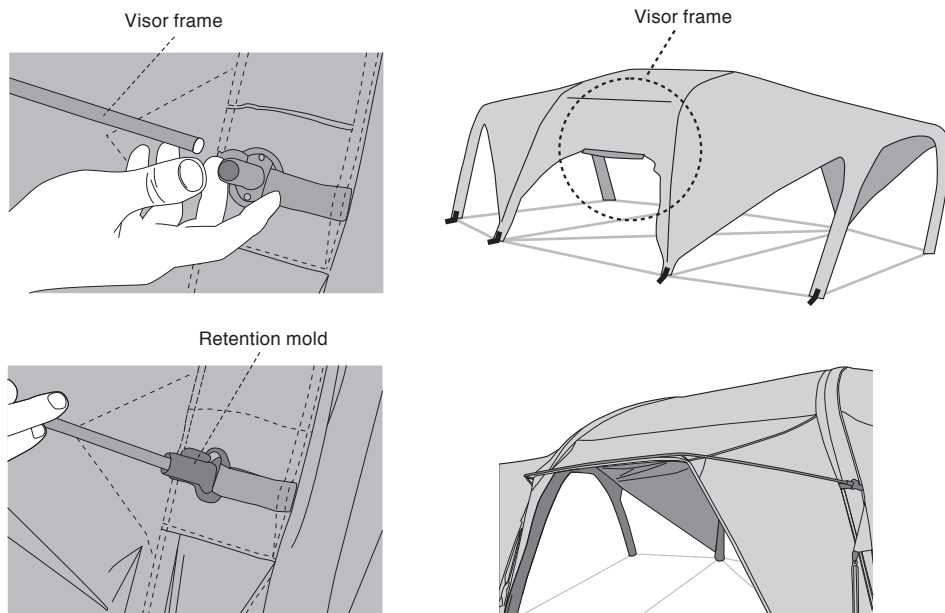
- ⑥ When the appropriate air pressure is reached, remove the hose from the valve and cap the air hole.



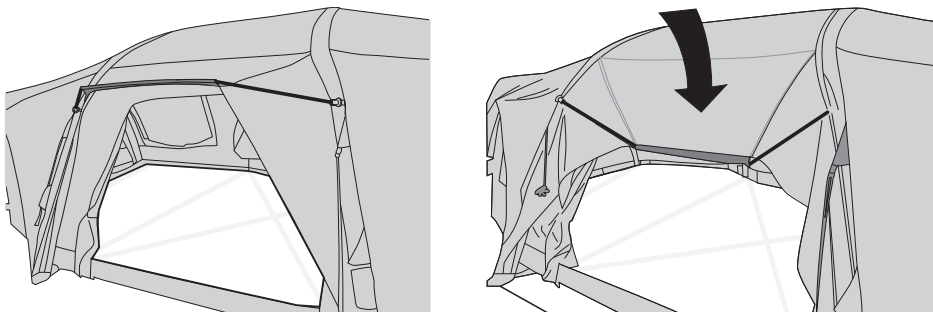
- ⑦ Close the nozzle clips (6 locations total) on the outer fly sheet ceiling.
* Closing the clips prevents air movement between air frames, which suppresses uneven air distribution during use. Especially in strong winds, failure to close these clips causes air to concentrate on one part and increases the pressure in that part, which reduces the shelter's stability.



- ⑧ Attach the visor frame. (2 locations)
To attach the visor frame, insert the visor frame into the retention molds provided with the front door.

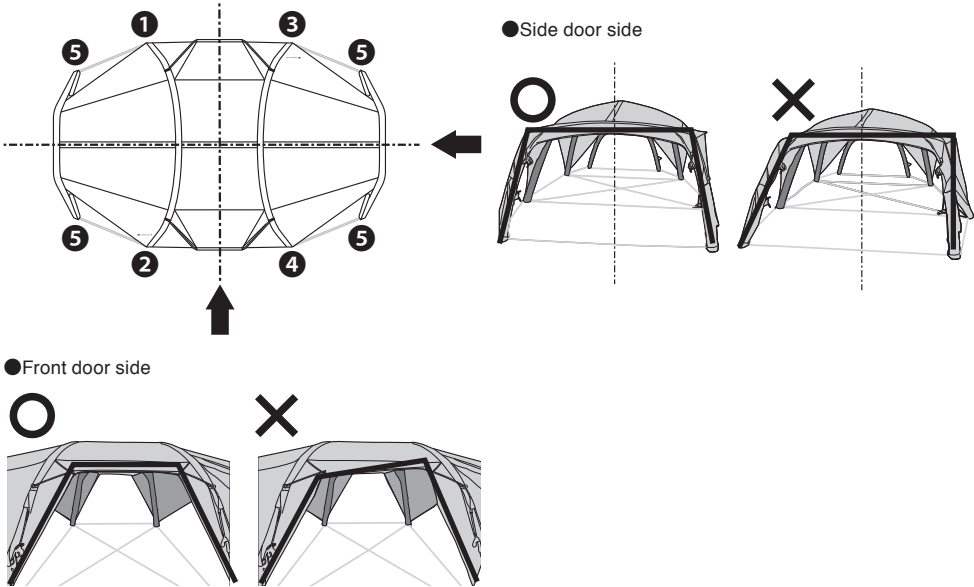


Caution The visor frames are designed to fall inward to prevent damage when the shelter receives strong wind. Even when they fall inward, it is easy to get them back to their original positions.

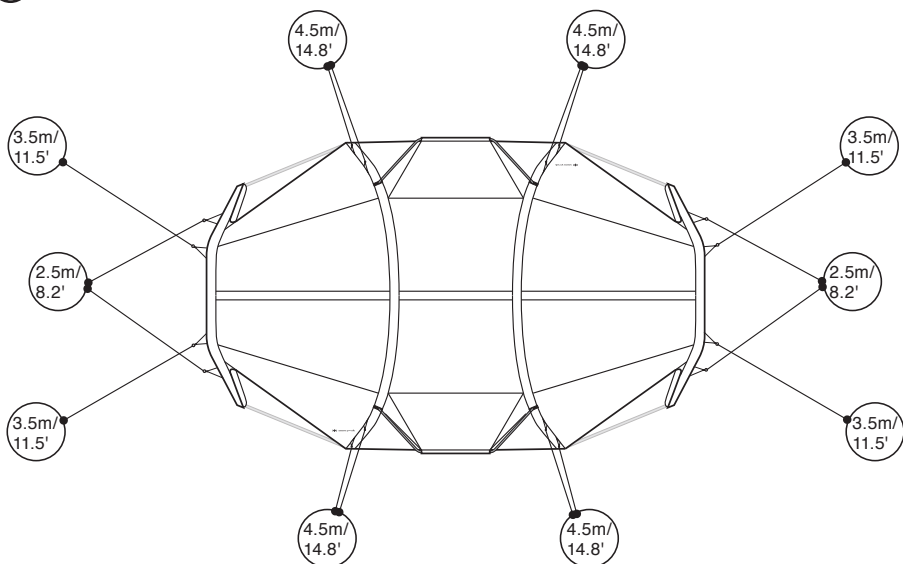


- ⑨ Drive the pegs into the ground from the peg-down loops. Gently pull each loop in the order indicated below, pegging them down while making sure there is no slack in the outer fly sheet. Adjust the positions of the four corner pegs that were temporarily held in place and peg them down again, ensuring that they are symmetrical in both directions.

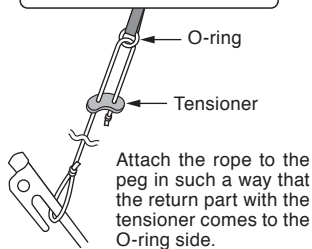
* If the peg-down positions at ⑤ are not symmetrical in both directions, the outer fly sheet may end up being crooked. If the outer fly sheet is set up crooked, adjust the peg positions.



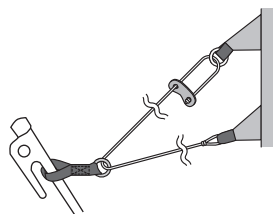
10 Extend the ropes and drive the pegs.



Attaching the single rope



Attaching the V-shaped rope(4.5 m / 14.8')

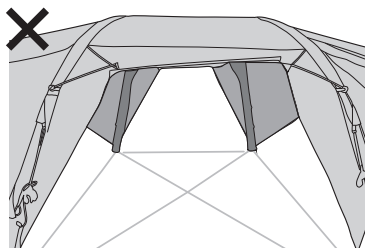
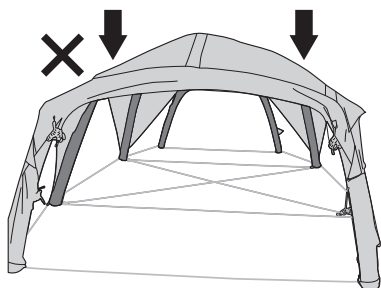


11 Pull the tensioner of each rope to apply tension.

* Do not pull excessively. It may cause deformation or breakage to the frame.

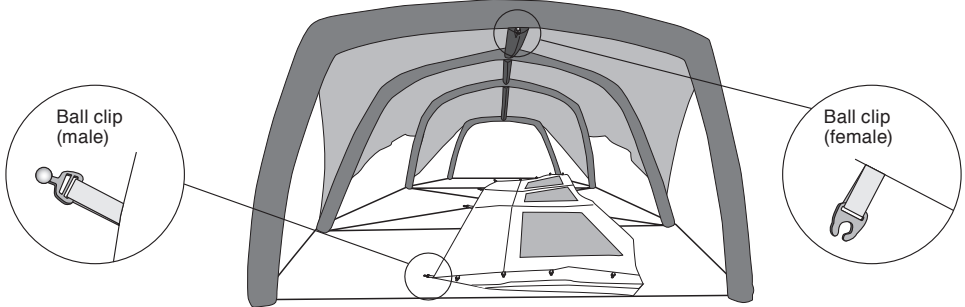
* Check the following particularly carefully:

- Whether a frame is sunken looking from the side door side
- Whether a visor frame is crooked looking from the front door side



Attaching the Inner Fly Sheet

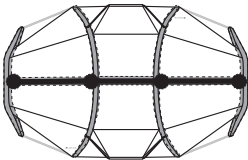
- 1 Check the long and short sides of the inner fly sheet and spread it across the inside of the shelter while it is folded in half, with the ball clips (male) visible.



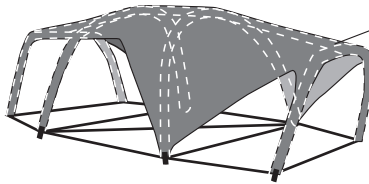
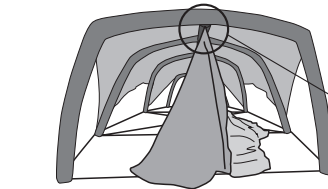
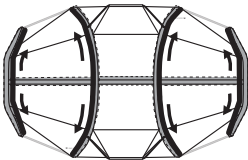
- 2 Attach the inner fly sheet ball clips (male) to the ball clips (female) on the inside of the outer fly sheet.

- Ball clips (female) are provided on each air frame. Be sure to attach all ball clips.
- For ease of work, first attach the ball clips to the air frames in the center ceiling, and then attach ball clips top-down toward the legs of each frame.
- * Ball clips (female) on the ceiling may be hidden between air frames (4 locations). The ball clips (female) on the ceiling have strings. Pull and draw them out to positions that help attachment.

Ceiling



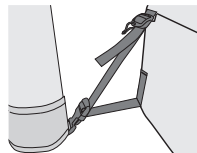
Frame legs



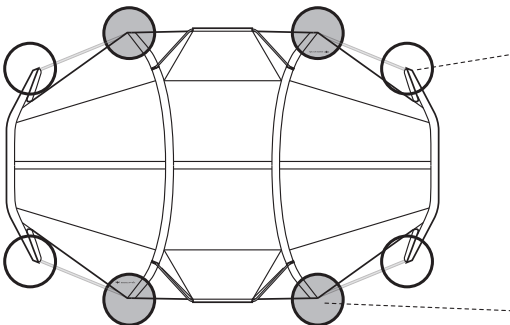
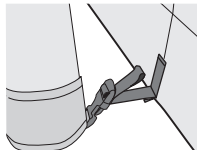
- 3 After connecting the buckle at each bottom corner, pull the adjustment tape to adjust the bottom tension.

- * Pay attention to the direction of the buckle to make sure that the tape does not get twisted.

<Adjustment tape A location>

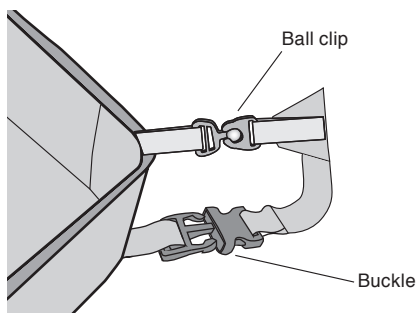


<Adjustment tape B location>

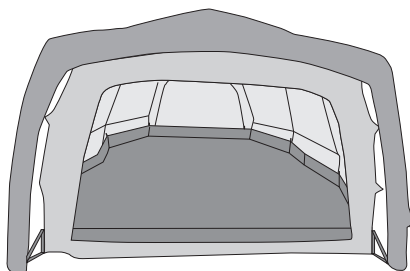


Attaching the Ground Sheet

- ① Lay the ground sheet inside the Aero Cumulus Shell with the PU-coated side (glossy surface) facing up. Check the orientation of this product so that the shape of Aero Cumulus Shell matches that of the ground sheet.
- ② Attach the buckle and ball clip at each corner of the ground sheet to the bottom part of the inner fly sheet.

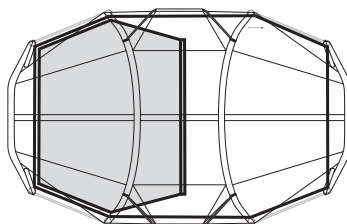
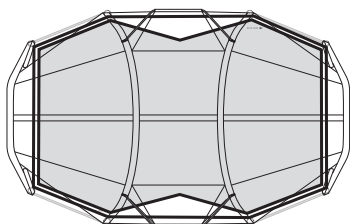
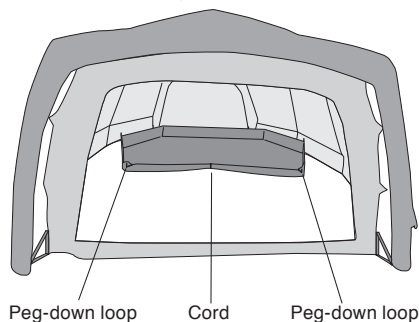


[When covering the entire floor inside the shelter with the ground sheet]



[When covering only half the floor inside the shelter with the ground sheet]

Fold the ground sheet up to the center part and hold it in place using the cord.



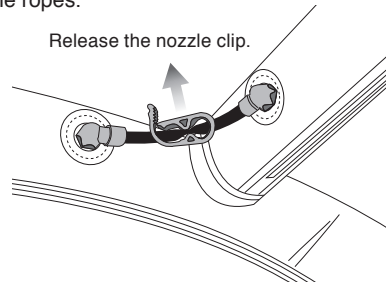
- ③ (When covering only half the floor inside the shelter with the ground sheet)
Fold the ground sheet in the center and hold it with the center cord.
Drive the pegs from the peg-down loops on the left and right sides of the folded ground sheet, and arrange the shape.

Taking Down the Shelter

Perform the setup procedure in reverse order to release air from the air frames.

- ① Making sure that there is nothing left in the inner fly sheet, remove all ball clips and buckles from the ground sheet and the inner fly sheet, and take out the ground sheet and the inner fly sheet from the outer fly sheet.
- ② Pull out all the pegs from the ground and bundle the ropes.

- ③ Release the nozzle clips (6 locations) on the outer fly sheet ceiling. Remove the visor frames (2 locations).



- ④ Open the valve cap and push the check valve button to release air.

Caution

- Pushing the check valve button will release air rapidly. Do not stand in front of the valve when releasing air. Also make sure that no one and nothing is in the direction of air release before pushing the button. It may cause injuries and/or property damage.
- Be careful not to allow children to touch the check valve button. It may cause injuries and/or property damage.

Push the button to release air.



<Release air>
Button is pushed in

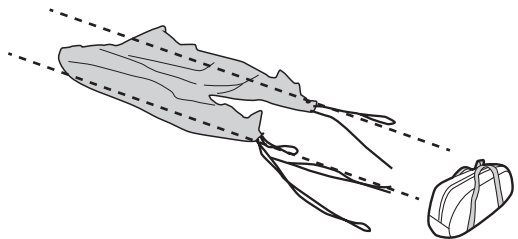
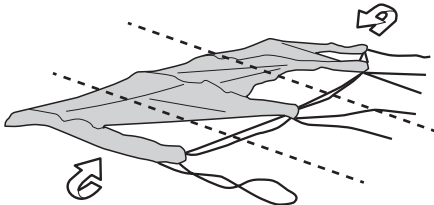


<Store (no air leak)>
Button is poking out

- ⑤ Fold the fly sheets to fit the length of the carrying bag and put them in the bag.
* If you notice air remaining inside when folding the outer fly sheet, do not continue folding—push the check valve to remove the air.

Caution

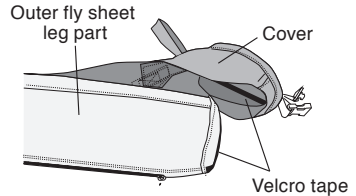
- Close the check valve after air is completely released through the open check valve. Leaving the check valve open for a long period of time can lead to deterioration in valve performance or malfunction.



- ⑥ Place the visor frames and pegs in their dedicated cases, and then store them in the carrying bag.

Precautions for Disassembly and Storing

- Please make sure that the product is sufficiently dry before storing it.
Notably, if the outer fly sheet is wet, the leg covers do not dry well and may take a long time to dry completely. The leg covers can be taken off. Remove them as shown in the illustration to dry them completely.
- If the wind is strong, wait for it to subside before disassembling the shelter.
- If you are using the ground sheet and inner fly sheet or using this product with another tent or tarp, always remove the ground sheet, inner fly sheet, and other products from this product before taking it down.
- Please ensure that nothing is inside the shelter and that all panels and windows are closed before disassembly.
- Ensure that all building tapes are connected before taking down the shelter.
- Remove all pegs, clean them, and store them in the peg case with their heads facing down. Store the visor frames in the frame case. If the frame is exposed, it may damage the fabric of this product or the carry bag.



Regarding Condensation

Mist is a collection of water droplets suspended in the air that turns into condensation in rapidly falling temperatures. In smaller spaces such as the inside of a tent or shelter, water vapor concentration is higher than in an ordinary room and frequently results in more condensation. Depending on the surrounding conditions, it may be impossible to avoid condensation completely, even with waterproof materials. To reduce condensation, allow steady ventilation while the shelter is in use.

Water-Repellent and Waterproof Functions

- A combination of polyester materials is used in this product. Water-repelling performance (water-repelling method and durability) may vary slightly due to the characteristics of each material. Please note that beforehand.
- Water-repelling performance will decrease after repeated use. Once the water-repelling performance decreases, use a generic water-repellent spray. Before spraying the material, be sure to read the instructions for the spray carefully.
- This product makes use of materials with high waterproof performance. However, if the materials make contact with pools of water on the ground for long periods, rainwater may soak into the material and cause partial discoloration.
- The PU coating may be damaged by agricultural chemicals, which cause the water pressure resistance to decrease abnormally. Please note that the product cannot be subject to warranty if damaged by agricultural chemicals.
- The logo may peel off due to the effect of the water repellent agent.

Regarding the Effect of Ultraviolet Rays

- A UV protection treatment has been applied to the outer fly sheet and inner fly sheet materials of this product. Ultraviolet rays are harmful to humans. The UV protection treatment will reduce the amount of ultraviolet rays entering the shelter, and will also slow the deterioration of material.
*The UV protection treatment does not completely shield humans from ultraviolet rays or stop the deterioration of the material's strength.
- When the shelter material is exposed to sunlight for long periods, color degradation or strength deterioration may occur. Do not leave the product assembled permanently.
- The material may deteriorate with exposure to ultraviolet rays. Deterioration may reduce the durability of this product beyond repair.

Maintenance & Storage

- If using this product after a long period of storage, inspect the product and other items included with the product. If you have any questions, contact the Snow Peak User Service.
- A combination of polyester materials is used in this product. In designing this product, we took the material characteristics into consideration and adopted processing and color patterns that will result in less color migration. However, slight color migration may occur depending on storage conditions. Please note that beforehand. Do not store the product while it is wet.
- Storing the product while it is still wet can result in issues such as mold buildup, unusual odors, color migration, and material deterioration. After using the product, dry it sufficiently in a well-ventilated and shaded area and clean the surface with a soft brush before storing.
- Please store in a well-ventilated area away from direct sunlight, high temperatures, and humidity.
- Using the zipper when it is covered with substances such as mud, sand, or dust may cause wear or damage. Clean the zipper with a brush before storage. Apply a small amount of silicone lubricant to the zipper regularly to allow for smooth movement. Applying too much lubricant can stain the material.
- Slight damage to the fabric can be fixed with repair tape, which can be purchased from your local outdoor gear retailer. When repairing the fabric, apply the repair tape from the back side due to the characteristics of the fabric. Please read the repair tape manual carefully before applying.
- Depending on the conditions during use, the shelter material may deteriorate over a wide area, losing its durability and becoming irreparable.
- Seam tape is pressure-capped at a temperature setting that prevents damage to the PU coating. However, it may peel off as it is used repeatedly. If peeling is found, set an iron at a low temperature and reattach only the peeling sections. Be aware that excessive heat will discolor or accelerate the deterioration of the fabric. If the PU coating peels off completely, it may be impossible to repair.
- Do not allow sap to stick to the product, as sap cannot be completely cleaned off. Avoid placing the product under trees that may drip sap. Using solvent or other substances in an attempt to remove sap will damage the material and coating.
- To maximize the longevity of this product, regularly check and maintain the product (including all accessories such as the pegs).

Warranty

Snow Peak has taken all possible measures to ensure every product is durable and functions correctly. If you find any product defects, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service. If there are apparent defects in the product's manufacturing, the defective product will be repaired or exchanged free of charge. In other cases, Snow Peak will repair the product for an appropriate fee. The decision to repair or replace the product will be at our discretion. Snow Peak will not repair the product for any damage that occurred due to the following: 1. Material deterioration caused by age. / 2. Damage caused by modifications or rough handling. / 3. Damage caused by inappropriate use not mentioned in the instruction manual. / 4. Damage caused by unexpected accidents. / 5. Any damage other than defects in the manufacturing process. / 6. Damage caused by dust or rust. / 7. Damage and defects caused by dismantling the product. / 8. Damage and defects caused by dropping, jolting or other shocks. / 9. Deterioration or failure of parts due to friction. / 10. Damage caused by the use of the product in combination with another manufacturer's products.

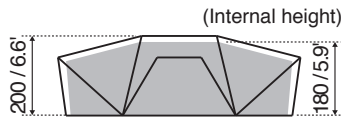
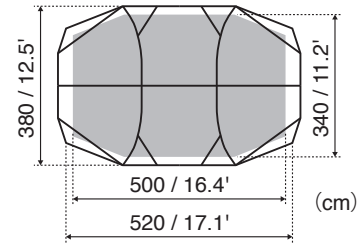
Repair

- If professional repairs are required, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service.
- When you request repairs, please make sure that the product is dry and clean.
- Please attach a memo or a tag indicating the necessary repair and please write details of how and when the damage occurred.
- Transportation and repair costs are determined as follows.
 1. Within warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by Snow Peak.
 2. Outside warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by the customer.

Specifications

- Contents: Outer Fly Sheet, Inner Fly Sheet, Visor Frame(x2), Ground Sheet, Ropes with Tensioner (2.5m / 8.2'x4, 3.5m / 11.5'x4, 4.5m / 14.8'x4), Hanging Line, Carry Bag, Frame Case, Ground Sheet Case, Peg Case, Air Pump
- Material: [Shelter] Outer Fly Sheet / 75D Silicone Polyester Ripstop, Shield Pigment PU Coating (Waterproof Rating: 1,500mm minimum), Water-Repellent Finish, UV Protection Treatment: Inner Fly Sheet / Wall: 68D Silicone Polyester Ripstop, PU Coating (Waterproof Rating: 1,500mm minimum), UV Protection Treatment, Roof: 68D Polyester Taffeta, Water-Repellent Finish, Bottom: 150D Polyester Ripstop Oxford, PU Coating (Waterproof Rating: 1,500mm minimum), Water-Repellent Finish: Ground Sheet / 150D Polyester Oxford, PU Coating (Waterproof Rating: 1,500mm minimum), Water-Repellent Finish: Visor Frame / A7001 (φ8.5mm): Air Frame / TPU, [Pump] Main body / Polypropylene, Hose / Polyethylene, Rod / Aluminum alloy
- Storage size: 94x38x40(h) cm / 37"x15"x15.7"(h)
- Weight: Approx.24kg / 52.9lbs (including air pump)

- Capacity: 4persons



Snow Peak USA, Inc.

404 NW 23rd Avenue, Portland, Oregon 97210, USA
Tel. +1 (888) 424-4916 / Instagram. @snowpeakusa
Email. info@snowpeak.com / www.snowpeak.com

Snow Peak, Inc.

456, Nakanohara, Sanjo-Shi, Niigata 955-0147 Japan
Tel. +81 256-46-5858 / Fax. +81 256-46-5860
www.snowpeak.co.jp